

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 院庄林業株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 708-0013 岡山県津山市二宮22-1	
本票作成	部署名：製材事業部 久米工場				
主たる業種	分類コード	12	業種名：木材・木製品製造業（家具を除く）		
事業の概要	木材製品の製造・販売				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山工場		岡山県津山市くめ団地50番1	
	②	久米工場		岡山県津山市くめ団地50番68	
	③	プレカット工場		岡山県津山市神戸481	
	④	本社		岡山県津山市二宮22-1	
	⑤	建材センター		岡山県津山市神戸158-2	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 5 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 5 年度)	(令和 6) 年度排出量	目標年度 (令和 9 年度)
	8,263 t CO ₂	8,513 t CO ₂	7,879 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 6) 年度排出量
	①	岡山工場	4,304 t CO ₂
	②	久米工場	2,910 t CO ₂
	③	プレカット工場	1,247 t CO ₂
	④	本社	35 t CO ₂
	⑤	建材センター	17 t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間： 令和 6 年度 ～ 令和 9 年度 (4 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(6) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	0.0 %	9.1 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量 (久米工場：消費材積、岡山工場：生産材積、プレカット工場：生産坪数)、事務所の床面積等	原単位当たり排出量		
		基準年度	(6) 年度	目標年度
		116.286 t CO ₂ /(t)	116.261 t CO ₂ /(t)	105.708 t CO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 6 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

主力の製材久米工場は生産量m3が伸びており、CO₂排出量は相関して増加。原単位当たりは増加。集成材岡山工場は生産m3伸ばしているが、CO₂排出量は比例せず減少している。原単位当たりは減少。久米工場は比例しているが、岡山工場は反比例している要因としては昨年秋の工場一部火災により稼働機械が減少したが、稼働機械減少分は他工場協力のもと停止機械部分をカバーし生産量を積み上げた結果、反比例していると考えられる。プレカット工場については生産坪数は伸び、排出量は横ばいの結果で単位当たりの排出量を押し下げている。日々の生産性向上の活動と加工物件の加工本数の低下が要因と考えられる。建材センター、管理本部については横ばいの結果。久米工場及び、岡山工場とも2年以内に設備の更新による生産効率が高い設備へ切り替わっていくことで原単位(生産量)あたりの排出量を抑えていける見込み

【推進体制】

環境会議（省エネ推進会議も含む）を随時開催し、工場・事務所とも取り組み内容を水平展開し化石燃料及び電力使用料の削減に継続して取り組んでいる。
また、C o 2 の排出を 2 0 2 1 年対比で 3 0 % 削減を 2 0 3 0 年に実施するべく「S B T」、「エコリーフ」の取得活動をスタートしている。「エコリーフ」については 2 0 2 4 年 5 月に取得済み。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
久米工場 岡山工場 プレカット工場	(令和 6 年度実施分) ・営業車をPHV車へ入替え ・生産性改善による電気使用量・フォークリフト使用量削減 ・事務所のエアコン 省エネタイプに買い替え ・SDGs個人目標設定
久米工場 岡山工場 プレカット工場	(今後実施予定分) ・電気タイプのフォークリフトへ入替（継続） ・省エネタイプのコンプレッサーへ入替え（未買替分） ・電気タイプのフォークリフトへ入替え ・P P Aモデルでの太陽光発電設備の導入 下記「再生可能エネルギーの導入」に記載している内容と同様

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	有	県産材製品の安定供給、県産木材の積極的活用と普及活動。岡山県産材サポーター（前年度、及び今年度継続）の選任。
その他	有	合法木材、森林認証材、エコアースウッドの積極的販売（前年度、及び今年度継続）。

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	中銀エナジー 久米工場・プレカット工場PPA導入検討 岡山工場PPA導入予定（2025年）CO2を排出しない電気の購入を検討中
その他	無	

【その他特記事項】

- ・森林ツアーを開催。森林・木材の啓蒙活動を実施。（小学校への森林の必要性の授業など）
- ・植林イベントを実施。
- ・省エネお助け隊による省エネ方法の取り組みによるC O 2 削減